

今週のモーニングセミナー報告

令和5年10月27日（金）の講話 <第633回>

テーマ：ゆるい終活～自分の気持ちを言葉にする～
講話者：終活カウンセラー 木村奈美 様

過去に大切な人が亡くなって死に向き合う事に気づき
終活の入口をサポートする活動をされている木村奈美様。
残された家族は、終活ノートが欲しいのではなく気持ちが知りたいので
「物・心・情報」をしっかりと整理する事を学びました。
本日も元気に楽しめます♪

担当者：村上 純平

終活カウンセラー 木村奈美様との出逢いは、坂出市倫理法人会の高尾幹事にご紹介いただきましたモーニングセミナーでした。今回お話を聴かせていただくのは2回目となります。
奈美さんのお母様はお孫さんとの時間を過ごすため、余命1ヶ月を7～8か月延ばすことができたとのこと。奈美さんは「希望を持つことで余命を延ばすことができた」と。この世での母、友人との永遠のお別れを体験し、しっかりと向き合い、人生において本当に大切なことに気付かれました。
「生きているうちに、ありがとう」が伝えることができるように、「自分の納得のいく人生が送れるように」と。人生には必ず終わりがある、自分らしくこの世での幕を閉じることができるように、終活のお導きをされています。
若い世代から、より良い人生のライフプランを考えることができるようにと、丸亀を拠点に活動されています。今後も、各倫理法人会等でご講話の機会があります。
皆様も是非、スケジュールをご覧になり、奈美さんのお話を聴きに各会場に足をお運びくださいね。
奈美さん、この度は、さぬき市倫理法人会でご講話いただきまして誠に有難うございます！
これからも奈美さんのご健康とご活躍を心より応援します！

担当者：安本さゆり

遺言書とは何がして欲しいか家族に残すもので、エンディングノートとは自分と向き合うきっかけづくりの意味を持つようです。人生100年時代と言われる昨今です。
自分の仕舞は自分でするためにも、準備は必要です。亡くなったのちの遺品整理を要するお金は1万円/1㎡あたりと高額です。元気なうちに片づけしておくことが残されたご家族へのご配慮になるという事です。ゆるく終活準備が気持ちの整理に役立つようです。
今週は文化の日祝日でお休みとなります。翌週会場がトRESTA白山となりますのでくれぐれもご注意ください。

会長：砂川 昌幸

※次回のご案内

<モーニングセミナー>

11月10日（金）朝6：00～7：00 会場：トRESTA白山

テーマ：生かされて。

講師：香川県さぬき市倫理法人会 会員 (有)将基酪農 代表取締役社長 佐々木英樹

出席社数 14社 14名

香川県さぬき市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000 / FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp